

## 解題『警察監獄学校設立始末』

本簿冊は、1899（明治 32）年から 1904（明治 37）年にかけて警察官・監獄官を養成する内務省直轄の教育機関として存在した、警察監獄学校の設立に関する史料を綴じ込んだものである。

警察監獄学校については、矯正図書館編『資料・監獄官練習所』（矯正協会、1977 年）をはじめいくつかの先行研究が著されているが、その設立経緯を裏づける史料は極めて限られていた。

本簿冊の大部分は、同校の開校以前、内務省が政府に対して予算要求を行う際に作成された文書とその写しからなっており、同校が構想された当初から開校にいたるまでの、構想・官制・規則・課程等の変遷をたどることができる。したがって本簿冊は、従来の史料上の制約を補うと同時に、明治期の監獄行政の展開をあとづける上で、かけがえのない価値をもつものといえよう。

なお、本簿冊の成立年代は團藤が生を享けるよりも十数年前と考えられるが、本簿冊が團藤文庫に収められた経緯について、確たる事情は判明していない。